

2016年 10月20日



学JESCO 2016年8月期 決算説明会資料

JESCOホールディングス株式会社[1434・東2]



Ι	会社概要	2
П	事業内容	6
Ш	2016年8月期 決算概要	13
IV	2017年8月期 計画概要	18
V	当社の強み	22
VI	成長戦略	27
VII	ご参考	36



I. 会社概要

会社概要



◆ 創業46年の電気設備工事・電気通信工事会社

会社名	JESCOホールディングス株式会社
所在地	東京都新宿区北新宿2丁目21番1号 新宿フロントタワー23階
事業内容	電気設備工事、電気通信工事の設計・施工、保守/メンテナンスなど
代表者	代表取締役社長 柗本 俊洋 (まつもと としひろ)
設立	1970年8月21日
資本金	914百万円(2016年8月31日現在)
連結子会社	JESCO CNS㈱ JESCO ASIA JOINT STOCK COMPANY JESCO HOA BINH ENGINEERING JOINT STOCK COMPANY
 従業員数	連結:485名 / 単体:24名(2016年8月31日現在)



◆ 90年代後半に電気通信工事へシフトし、持続的な成長を実現





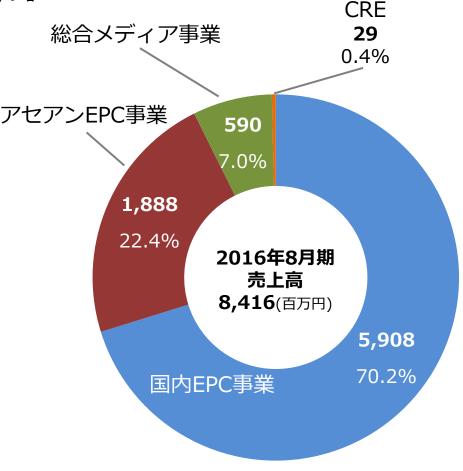
◆ 国内EPC^(*) アセアンEPC、総合メディア、CREで成立

(*) Engineering(設計), Procurement(調達), Construction(建設)の略



上段:セグメント分類/中段:事業内容/下段:子会社名

*JESCO TMC(株)は16/9にJESCO CNS(株)と合併



上段:売上高(百万円)、下段:構成比

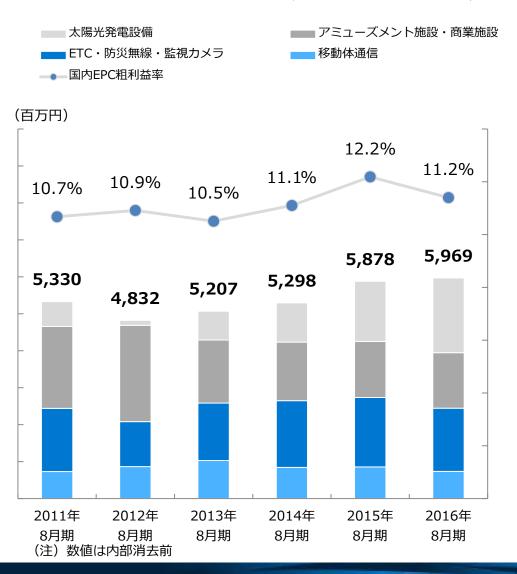
(注)数値は内部消去後



Ⅱ. 事業内容

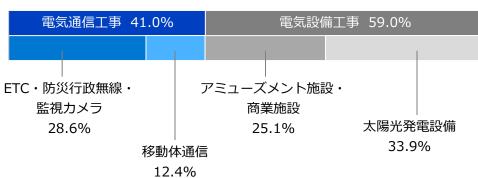


◆ 電気設備工事、電気通信工事の多くの分野で安定的な実績をもつ





事業分野別売上構成比 (2016年8月期)





◆ 高品質な工事実績が次の受注に結び付く



▲高速自動車道ETC設備工事



▲ショッピングモール向け移動体通信工事



▲防災行政無線工事



▲大劇場音響設備工事



▲移動体通信工事

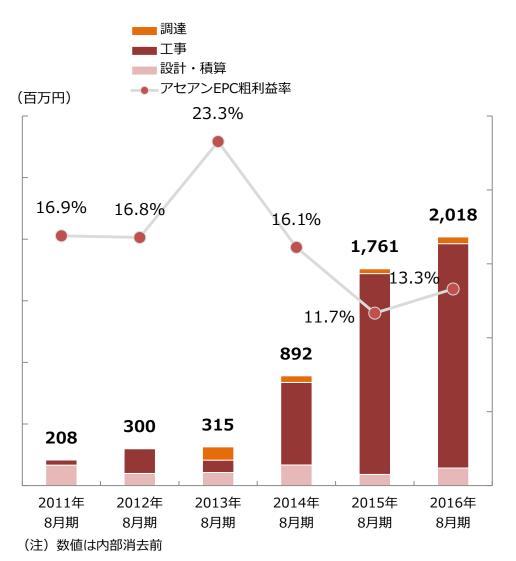


▲太陽光発電設備工事

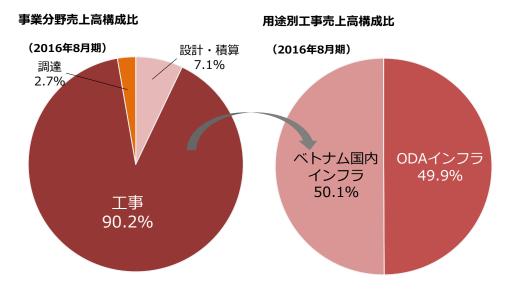
アセアンEPC事業



◆ JHEの連結開始により工事売上高が急拡大



	事業分野
設計・積算	電気・空調・給排水・通信・ 電気計装・機械
工事	電気・空調・給排水・通信・ 電気計装
調達	ベトナムを中心とした資材輸出入



アセアンEPC事業



◆ ベトナムで高い知名度、信用と実績を誇るJESCOグループ



▲タンソンニャット国際空港(電気設備工事の施工管理)



▲ベトナム 南北高速道路 ホーチミン〜ゾウザイ間高速道路 (ITS工事)





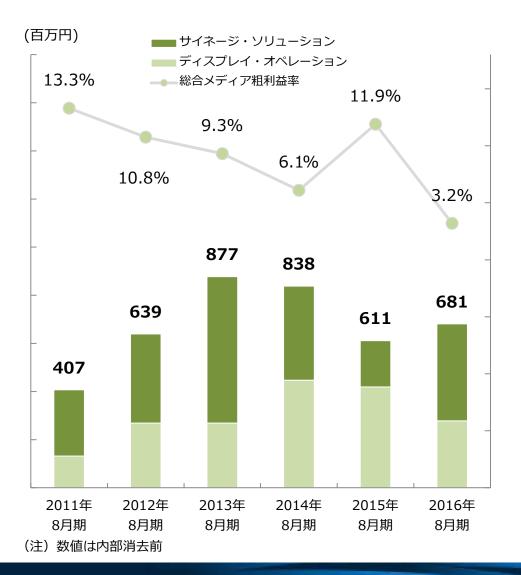
▲ノイバイ国際空港第2ターミナルビル(電気設計・施工管理・電気設備工事)



▲アセントコンドミニアムプロジェクト(給排水・電気設備工事)



◆ 広告媒体社であると同時に、システムの設計・建設も行う



	事業分野
サイネージ・	大型ビジョンの
ソリューション	システム企画設計・販売
ディスプレイ・	ロードサイドビジョンなどの大型ビジョン
オペレーション	の運用・サービス・ レンタル・広告



▲ 平和島LEDビジョン



大型ビジョン取り扱い実績(一部)

横浜スタジアム



▲リボンビジョン



▲横浜ベイビアガーデン



▲9面マルチ



▲コンコースビジョン



▲ウォールビジョン

首都高速ロードサイドネットワークビジョン















▼江戸川橋(下n



Ⅲ. 2016年8月期 決算概要



単位:百万円/下段は構成比

			2016年8月期				
	2015年8月期	実績	前期	肚	計画	計画	1比
		大順	増減額	増減率	可四	増減額	達成率
売上高	8,034 (100.0%)	8,416 (100.0%)	+381	+4.8%	9,000 (100.0%)	▲ 583	93.5%
売上総利益	1,043 (13.0%)	1,038 (12.3%)	\$ 5	▲0.5%	1,200 (13.3%)	▲ 161	86.5%
販売費及び 一般管理費	684 (8.5%)	764 (9.1%)	+80	+11.8%	746 (8.3%)	+18	102.5%
営業利益	359 (4.5%)	273 (3.2%)	▲86	▲24.0%	454 (5.0%)	▲ 180	60.2%
経常利益	348 (4.3%)	273 (3.3%)	▲ 74	▲21.5%	462 (5.1%)	▲ 188	59.2%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	242 (3.0%)	247 (2.9%)	+5	+2.2%	337 (3.7%)	▲89	73.6%

14



売上高は内部消去前 単位:百万円/下段は構成比

					2016年	=8月期		
		2015年8月期		前其	月 比	計画・	計画比	
			大順	増減額	増減率	可凹	増減額	達成率
- ਰ	記上高	8,034 (100.0%)	8,416 (100.0%)	+381	+4.8%	9,000 (100.0%)	▲ 583	93.5%
	国内EPC	5,878 (73.2%)	5,969 (70.9%)	+90	+1.5%	6,215 (69.0%)	▲245	96.1%
	アセアンEPC	1,761 (21.9%)	2,018 (24.0%)	+257	+14.6%	2,160 (24.0%)	▲ 141	93.5%
	総合メディア	611 (7.6%)	681 (8.1%)	+69	+11.4%	900 (10.0%)	▲218	75.7%
	CRE・その他	442 (5.5%)	488 (5.8%)	+45	+10.3%	488 (5.4%)	_	—%
	調整額	▲ 659 (▲ 8.2%)	▲ 741 (▲ 8.8%)	▲81	—%	▲ 763 (▲ 8.4%)	+21	-%
							円/下段はセグメン	ント売上高利益率
莒	宫業利益 	359 (4.5%)	273 (3.2%)	▲86	▲ 24.0%	454 (5.0%)	▲180	60.2%
	国内EPC	174 (3.0%)	158 (2.7%)	▲15	▲ 9.1%	208 (3.3%)	▲49	76.3%
	アセアンEPC	51 (3.1%)	86 (4.3%)	+34	+66.8%	88 (4.0%)	1	97.8%
	総合メディア	▲ 0 (▲ 0.1%)	▲ 32 (▲ 4.7%)	▲31	—%	52 (5.7%)	▲84	—%
	CRE・その他	72 (16.4%)	▲ 3 (▲ 0.6%)	▲ 75	—%	68 (13.9%)	▲ 71	—%
	調整額	61	63	+2	+3.6%	38	+25	167.8%



単位:百万円/下段は構成比

		2045/2017		2016年8月期		
		2015年8月期		増減額	主な増減要因	
	流動資産	3,884 (55.8%)	4,204 (48.5%)	+320	受取手形・完成工事未収入金等 +408 未成工事支出金 +82	
	固定資産	3,077 (44.2%)	4,467 (51.5%)	+1,390	新中野ビル取得による増加 建物及び構築物+599 土地 +949	
資産合計		6,966 (100.0%)	8,675 (100.0%)	+1,708		
	流動負債	2,905 (41.7%)	3,609 (41.6%)	+704	短期借入金 +949 未成工事受入金 +31 1年内返済予定の長期借入金 ▲76 未払法人税等 ▲35	
	固定負債	2,821 (40.5%)	2,733 (31.5%)	▲88	長期借入金 +130 長期未払金 ▲120	
負債合計		5,726 (82.2%)	6,342 (73.1%)	+615		
純資産合計		1,239 (17.8%)	2,332 (26.9%)	+1,093	資本金 +462 資本剰余金 +450 利益剰余金 +247	
負債・純資産合計		6,966 (100.0%)	8,675 (100.0%)	+1,708		

連結キャッシュ・フロー計算書の概要



単位:百万円

	2015/50 🖽		2016年8月期
	2015年8月期		主な内容
営業キャッシュ・フロー	393	▲471	税金等調整前当期純利益 +333 減価償却費 +193 売上債権の増加 ▲635 たな卸資産の増加 ▲154
投資キャッシュ・フロー	160	▲ 1,653	固定資産の取得による支出 ▲1,695 投資不動産の賃貸による収入 +107
財務キャッシュ・フロー	▲26	1,898	短期借入れによる収入 +973 長期借入れによる収入 +54 株式の発行による収入 +925
現金及び現金同等物の換算差額	22	▲ 78	
現金及び現金同等物の増減額	550	▲305	
現金及び現金同等物の期首残高	515	1,066	
現金及び現金同等物の期末残高	1,066	761	



IV. 2017年8月期 計画概要



単位:百万円/下段は構成比

			2017年8月期		
	2016年8月期	計画	前期	明比	
		미岬	増減額	増減率	
売上高	8,416 (100.0%)	9,500 (100.0%)	+1,083	+12.9%	
売上総利益	1,038 (12.3%)	1,213 (12.8%)	+174	+16.8%	
販売費及び一般管理費	764 (9.1%)	713 (7.5%)	▲ 51	▲ 6.8%	
営業利益	273 (3.2%)	500 (5.3%)	+226	+82.9%	
経常利益	273 (3.2%)	450 (4.7%)	+176	+64.5%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	247 (2.9%)	300 (3.2%)	+52	+21.0%	

2017年8月期計画(セグメント別)



売上高は内部消去前 単位:百万円/下段は構成比

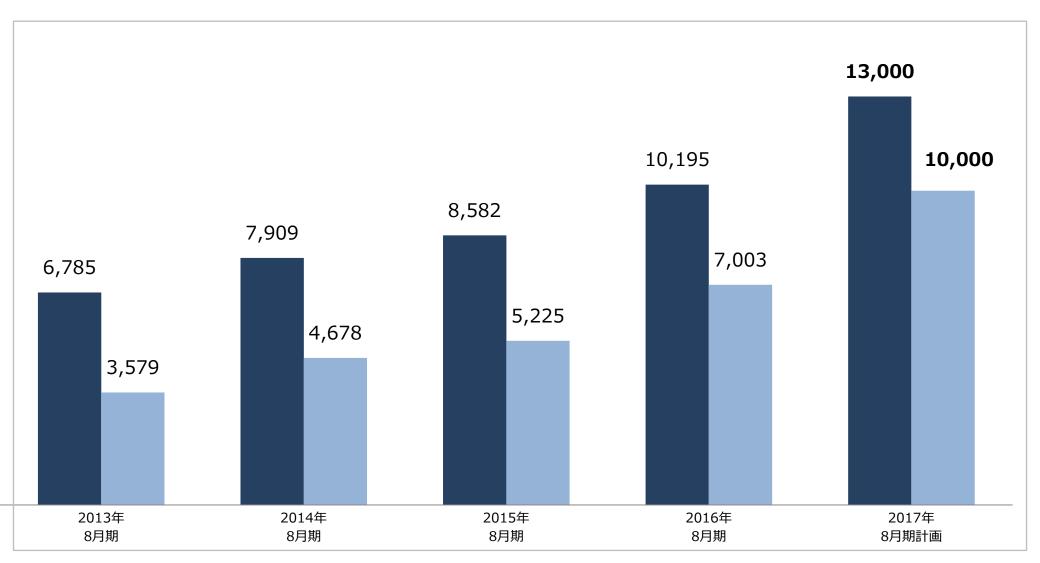
					2017年8月其	-	
) 	
		2016年8月期	計画	前年	比	計画概要	
			日四	増減額	増減率	引興似安	
壳	上高	8,416 (100.0%)	9,500 (100.0%)	+1,083	+12.9%		
	国内EPC	5,969 (70.9%)	7,020 (73.9%)	+1,050	+17.6%		
	アセアンEPC	2,018 (24.0%)	2,070 (21.8%)	+51	+2.5%		
	総合メディア	681 (8.1%)	760 (8.0%)	+78	+11.6%		
	CRE・その他	488 (5.8%)	751 (7.9%)	+262	+53.8%	新規取得物件の売上寄与を見込む	
	調整額	▲ 741 (▲ 8.8%)	▲1,101 (▲11.6%)	▲359	_		
						単位:百万円/下段はセグメント売上高利益率	
営	常業利益 	273 (3.2%)	500 (5.3%)	+226	+82.9%		
	国内EPC	158 (2.7%)	262 (3.7%)	+103	+65.0%		
	アセアンEPC	86 (4.3%)	101 (4.9%)	+14	+17.4%		
	総合メディア	▲ 32 (▲ 4.7%)	89 (11.7%)	+121	_		
	CRE・その他	▲ 3 (▲ 0.6%)	127 (16.9%)	+130	_		
	調整額	63	▲ 79	_	_		

受注高·受注残高計画



■ 受注高 ■ 受注残高

単位:百万円





V. 当社の強み



当社の強み(1) ワンストップでトータルソリューションを提供

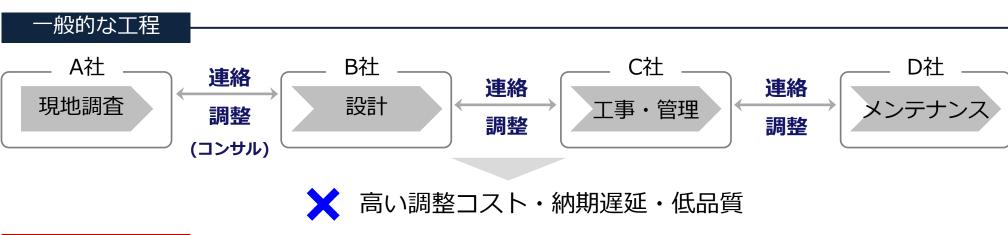
当社の強み(2) 独立系ならではの高稼働率

当社の強み(3) 独自のスキームで国内の労働力不足を補完

「ワンストップでトータルソリューションを提供」

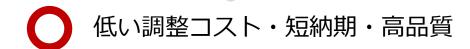


◆ 工程間の調整コストが不要。かつ短納期で高品質のソリューションを提供



JESCOの工程





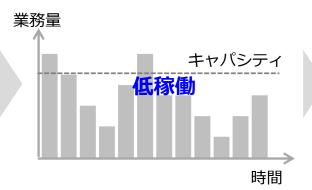
「独立系ならではの高稼働率」

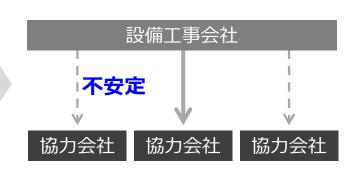


◆ 取引先に偏りがなく、高稼働率を維持

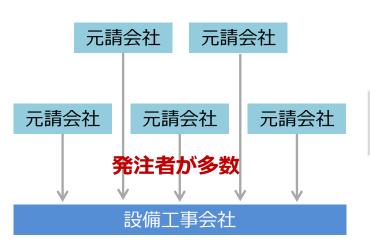
大手系列

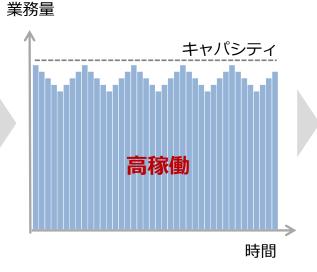


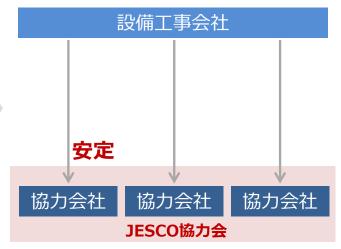




JESCO





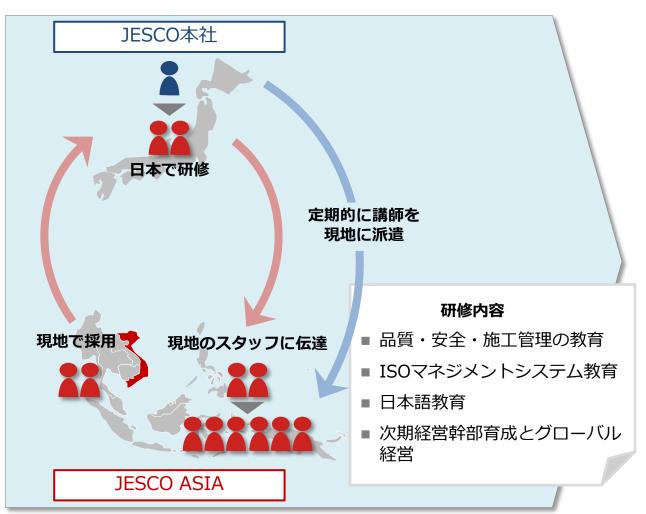


独自のスキームで国内の労働力不足を補完



◆独自の方法で育てた人材を、社内だけでなくアウトソーシングとして活用

独自のスキームで研修



ベトナムの現地スタッフが行う 主な業務

国内EPC

設計・積算受託

アセアンEPC

設計・積算受託

他社のアウトソーシング支援

国内およびASEAN進出企業の アウトソーシング

その他

データ入力などの事務作業

安価な労働力で正確な作業



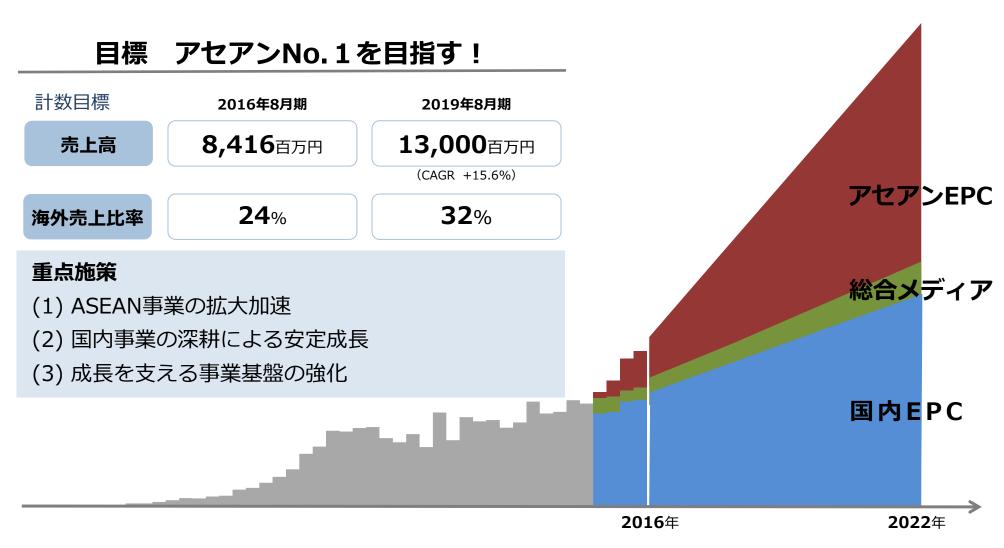
VI. 成長戦略

JESCOグループ中期事業計画(2016年9月~2019年8月)



28

◆ 日本品質とベトナム・コストを両立し、アジアのインフラ需要を取り込む





2015年 2020年 2030年

国内EPC

東京オリンピックに向けた各種施設・ビル等の再開発

防災行政無線のデジタル化、テレメータシステムの更新工事拡大

高速道路の大規模修繕の本格化・省エネ化の加速、リニア中央新幹線工事の加速

通信品質の高度化(5G、WiFi整備事業)

電気自動車充電インフラ設備の顕在化、エネルギー改革

アセアン EPC 空港、道路、鉄道、港湾の整備

ベトナム不動産投資の活況(マンション、商業ビル)

ベトナム国内のプラント関連プロジェクトの増加

日系企業が中国に次ぐ産業の新拠点としてベトナムに進出

総合 メディア 本格的IP化によるパラダイムシフト

多言語対応可能な案内システムの需要

ハードウェアのオープン化とコモディティ化

防災・安全へのニーズの高まり



事業環境の認識



観光客の増加

経済成長による生活の質の向上



電気通信の需要大 IoTの進展

東京オリンピック ラグビーW杯

外国人観光客增

事業機会

基本方針

アセアンEPC事業

- 交通インフラ(空港・ 高速道路・鉄道)整備
- 富裕層のニーズへの対応
- 日本国内のEPC事業拡大

- 空港施設・高速道路等公共インフラの 建設事業拡大
- 高層マンションのインフラ整備を含む 建設事業拡大
- 国内EPC事業の設計・積算受託

国内EPC事業

- 競技場など施設の整備
- 交通インフラ(空港・ 高速道路・鉄道)整備
- 顧客のクロスセル・アップセルでの売上・利益率向上を実現
- 既存事業の強みを活かせる新分野への 事業拡大を推進

総合メディア事業

- 競技場内の大型映像装置 の建設と運営
- 訪日外国人向け案内によ るディスプレイ広告需要
- デジタルサイネージ稼働率向上による 高収益化

重点施策(1)ASEAN事業の拡大加速



◆ 現地顧客向け受注の拡大



重点施策(1)ASEAN事業の拡大加速



◆ 高層マンションの電気・空調衛生設備工事を開始

JHE社概要

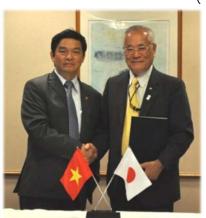
JESCO ASIA ホアビン社 JHE社 (建設機能) JESCO HOA BINH ENGINEERING 48.8%出資

2014年4月にジョイントベンチャー スタート!

JOINT STOCK COMPANY



▲ジョイントベンチャー調印式の様子



▲HAI CEOと柗本社長

ホアビン社概要

社名 Hoa Binh Construction & Real Estate Corporation

工事施工・設計、地盤処理、不動産の経営、 事業内容 建設コンサルタント、建設資材の生産販売、 住宅の修理他

売上高 277億円(2015年12月期)

上場市場 ホーチミン市場

時価総額 77億円 (2016/4現在) *

CEO MR. LE VIET HAI

(*)1円=183.00VNDで換算

HOABINH

ベトナム企業トップ500社ランキング (VNR500、2013年度)

建設業界で第2位(ホーチミンで1位)

ホーチミン市トップ10経営者

(ベトナム商工会議所、2013年度)に ノミネートされたHAI CEO

重点施策(1)ASEAN事業の拡大加速



◆ JESCO HOA BINH ENGINEERING JSC ベトナム国内インフラへの貢献

▶リバーゲートレジデンス新築工事 概要

受注先	:	HOA BINH CONSTRUCTION AND REAL ESTATE CORPORATION
受注年月	:	平成28年2月
工事内容	:	電気・空調衛生設備工事
工事場所	:	ベトナム国ホーチミン市1区 ベンバンドン通り
工期	:	平成28年2月~平成29年8月
工事規模	:	集合住宅、地下4階地上33階(一部27階)、 総延べ床面積114,000㎡
受注金額	:	



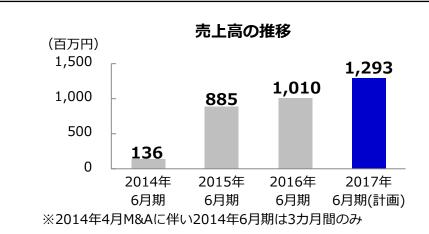
▲リバーゲートプロジェクト 完成予想図



▲チェソールプロジェクト完成予想図

▶チェソール高層アパートメント新築工事 概要

受注先	:	HOA BINH CONSTRUCTION AND REAL ESTATE CORPORATION
受注年月	:	平成28年5月(基礎工事スタート後の受注)
工事内容	:	電気・空調衛生配管設備工事
工事場所	:	ベトナム国ホーチミン市4区ワード12 ベンドンバン通り39-39B
工期	:	平成27年11月~平成30年3月
工事規模	:	集合住宅、Aブロック地上35階及びBブロック地上19階、 総延べ床面積168,210㎡
一 受注金額		1 039億VND(約5 5億円)



重点施策(2)国内事業の深耕による安定成長



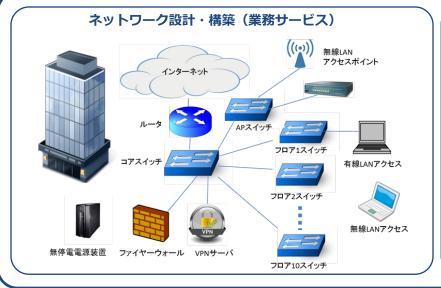
◆電気工事/ICT/CREを組み合わせたシナジーを強みとして、更なる売上拡大、 収益性改善を実現していく

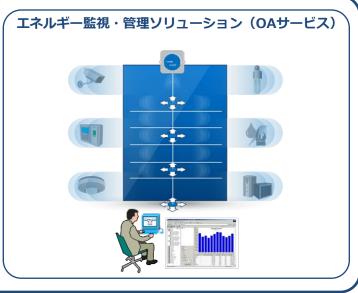
CRE(場の提供)





















電気工事全般(インフラ)

重点施策(3)成長を支える事業基盤の強化



人材育成

1. JESCO Wayを継承する教育体制の確立



2. 国内のワンストップ総合エンジニアリング事業を支えるエンジニアの確保

- ▶ 新卒採用
- ▶ グローバル人材:海外からの留学生採用強化
- ▶ 教育訓練・資格等級制度によるスキル向上とモチベーションアップ
- ▶ 現場主体による機動的な中途採用



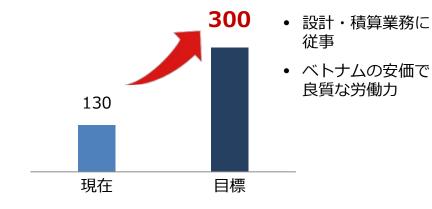
3. ASEAN地区でのエンジニア確保とオフショア展開

- ▶ ベトナムでの継続的な新卒採用とOJT
- ▶ ベトナムでの技能訓練と日本語教育
- ▶ 技術者交流とオフショア展開拡大 (CNSとASIA社の連携)

4. 次期経営幹部育成とグローバル経営

- ▶ 次期経営幹部プログラムの確立
- ▶ 育成のための研修の強化(3年プラン)
- ▶ ダイバーシティ人材の登用

ベトナムエンジニア 早期に300名体制確立へ



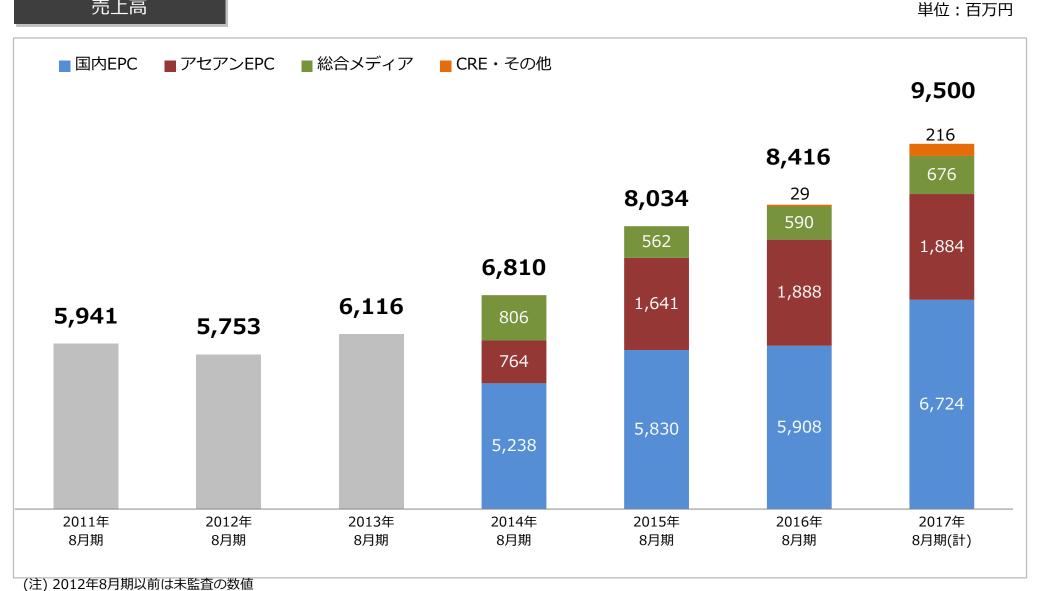




四. ご参考



売上高

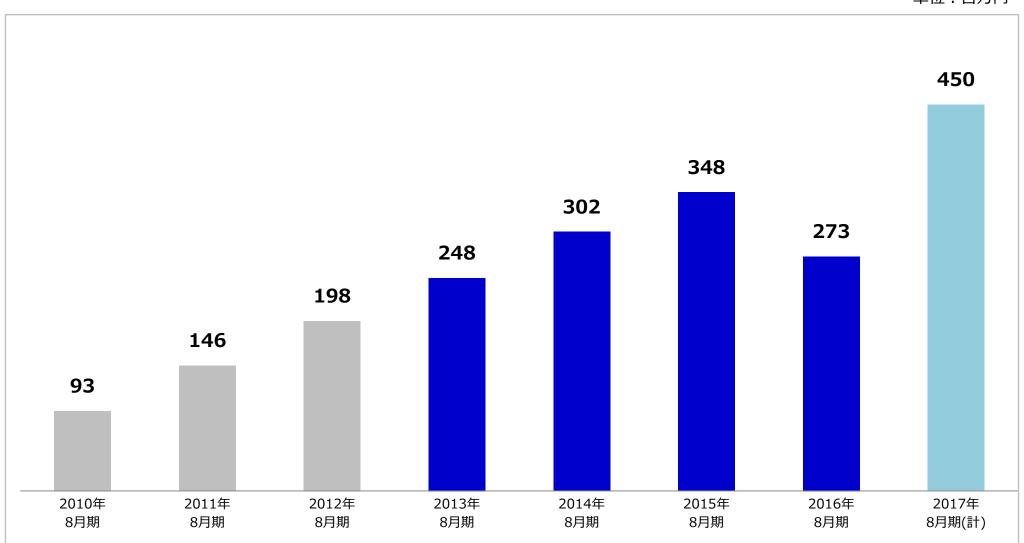


Copyright © JESCO Holdings., Inc All rights reserved.



経常利益

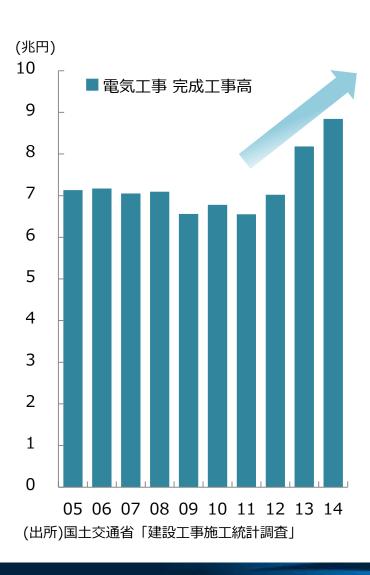
単位:百万円



(注) 2012年8月期以前は未監査の数値

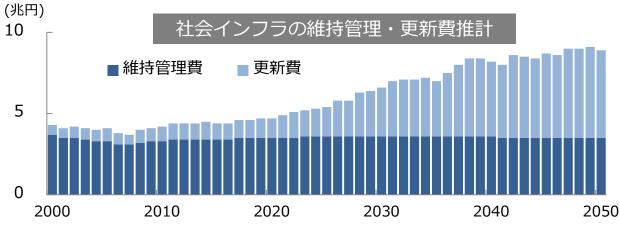


◆ 電気工事の需要は底堅い



今後の市場動向

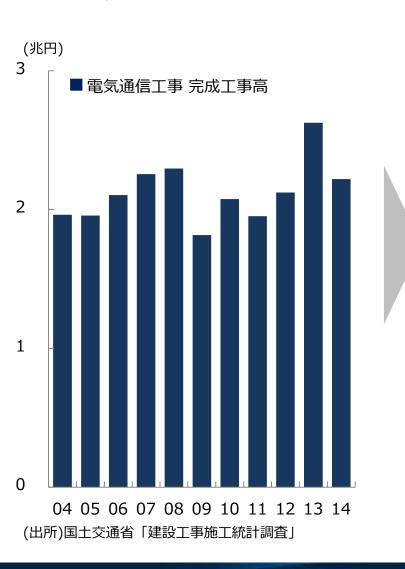
- ■東京オリンピックに向けた建設需要
 - 1) 競技場など施設整備
 - 2) 交通インフラ整備
 - 羽田空港、成田空港
 - 首都圏3環状道路、首都高
 - 都心直結線、羽田空港アクセス新線
 - 都心再開発
- インフラ老朽化を背景とした更新需要
- 電気自動車充電インフラ設備、LED・再生エネルギー関連設備



(出所)国土交通省「H27年度版国土交通白書」

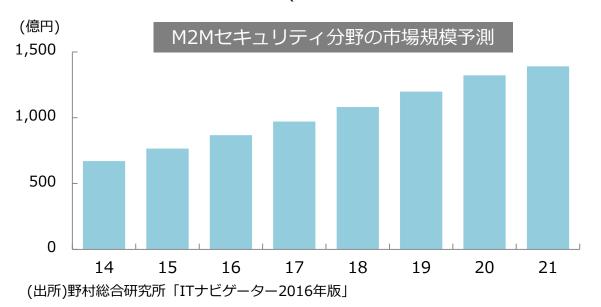


◆ 電気通信工事は需要が高水準で推移



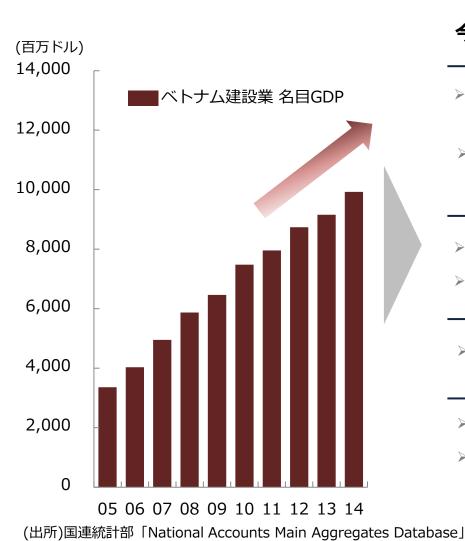
今後の市場動向 (ICTの更なる発展によるインフラ需要の拡大)

- ITS(高度交通情報システム)の拡大
- センサー技術及び監視カメラ等による各種セキュリティデータの取得と ビックデータ解析ビジネスの発展
- 広域防災情報ネットワークの増強
- 教育/医療のICT化促進
- 次世代 (5G) 携帯の普及による通信データ量増加に対応する 基幹ネットワークの大幅な拡充 (有線・無線)





◆ 人口増加を背景にアセアンのインフラ需要は高成長が継続する見通し



—— 発電所

- >ベトナム・タイビン火力発電所(出力600MW)の新設
- ▶マレーシア・ジマ火力発電所(出力2,000MW)の新設

* 日本の高速道路総延長:9,268km

今後の市場動向

— 空港

- ▶ベトナム・ロンタイン新国際空港整備(2023年開港予定)
 - ホーチミン郊外のハブ空港(滑走路4本)
- >スリランカ・バンダラナイケ国際空港改善事業(ODA協力事業)
 - スリランカ唯一の国際空港

— 高速道路

- >約5,900km*の高速道路建設
- ▶ベトナム・カンボジアでの高速道路ITS

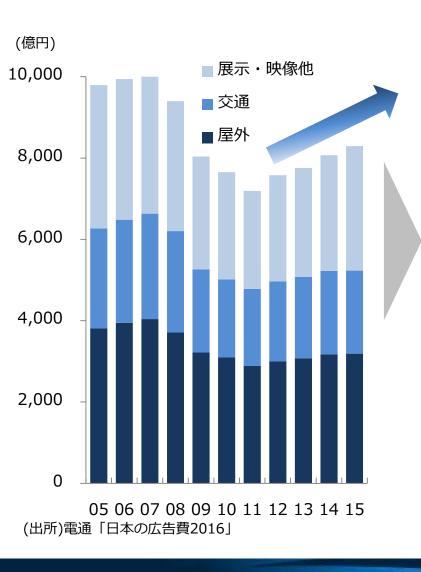
— 鉄道 -

▶ホーチミン市都市鉄道(1号線)

Copyright © JESCO Holdings., Inc All rights reserved.

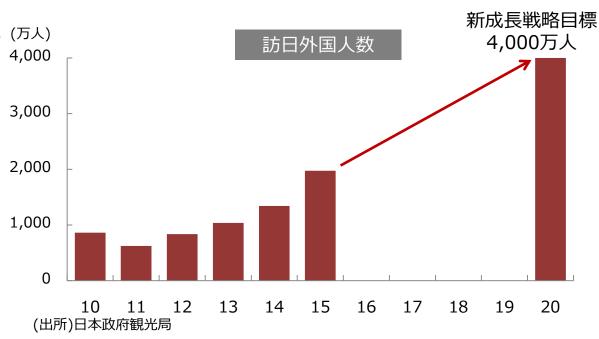


◆ デジタルサイネージは成長市場



今後の市場動向

- ■防災情報ステーション整備もあり、屋外・交通広告のデジタル化 の流れが継続する見通し。
- ■2020年の東京オリンピック開催時には、訪日外国人向け施設案内 や観光案内のための、デジタルサイネージ需要が高まると予想される。





- □ 本資料はJESCOホールディングス株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- □ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- □ また、経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

JESCOホールディングス株式会社 財務経理室

TEL: 03-5937-6155 / E-mail: jesco-ir@jesco.co.jp